

## 令和8年度 中学校第2回入試を終えて

1月11日(日)、第2回入試を本校とさいたまスーパーアリーナの2つの会場で実施しました。第1回入試に続き、再び多くの受験生を迎えることができ感謝申し上げます。

本日は昨日に引き続き、例年より少し温かい穏やかな天候に恵まれました。受験生の皆さんはこれまで積み重ねてきた努力を胸に、強い決意をもって試験に臨んだことと思います。その真剣な姿から、保護者の皆様や塾の先生方の思いも確かに受け止めているのだと感じました。

合格者の皆さん、おめでとうございます。本校で共に学べる日を心から楽しみにしています。

残念ながら今回思うような結果が得られなかった受験生の皆さんへ。

壁というのは乗り越えられる可能性を持つ人の前にしか現れません。壁があるときこそ、それはチャンスです。あきらめない心があれば必ず壁は越えられます。皆さんの努力と挑戦は決して無駄ではありません。次回に向けて一歩ずつ進んでいきましょう。

学力は試験当日の朝まで伸びます。最後の最後まであきらめず頑張ってください。  
皆さんの努力が必ず実を結ぶことを信じています。

城北埼玉中学・高等学校

森 泉 秀 雄

一 漢字の読み書き、慣用句

漢字の読み書きや語句問題はあまりできていませんでした。知識問題は、「知っている・わかっている」だけでなく、実際に書いて覚える様にしていきましょう。記述・論述の際に送り仮名の間違いは非常にもったいないので、その都度自分の知識をアップデートしていきましょう。

二 「AI に書けない文章を書く」(説明的文章)

ネット社会になり、私たちを取り巻く環境は大きく変わりました。現代はスマートフォンから多種多様な情報が大量に流れ込んで来る時代です。便利な世の中になったと思う反面、何が本当で何が嘘なのか。自分に必要な情報は何なのか。見極める力と選択する力が今まで以上に問われることに怖さを感じることもあります。

難しい文章でしたが、受験生の皆さんは粘り強く戦い、答えを導き出してくれました。そんな皆さんであれば情報があふれる社会を自分の目で見極め、選択することのできる人材に成長することができると信じています。

三 「あえてよかった」(文学的文章)

初めて学童施設で働くことになった男性職員が奮闘する話です。まずは、場面設定をしっかりと頭において読み始めましょう。皆さんも4月から新しい環境に飛び込むわけです。不安と緊張の中でいきなり現場に飛び込む主人公の気持ちも考えながら問題よ読み解きましょう。

定番の論述問題は、条件に沿って書けば、点数がもらえるチャンス問題です。①美月に話しかけるように台詞形式で書く。②一つの事件に限定する。③どのようなことが起こったのか。④その時自分がどう思ったのか。⑤明日からどのようにしていくのか。この5点を入れて書きましょう。

昨日に続いて寒い1日でした。連日の受験で疲れた人も多いと思います。どうか体調を崩さぬよう、そしてこの先、皆さんの力が存分に発揮されるよう心からお祈りしています。私たちはみなさんひとりひとりを応援しています。

国語科 林 亮介

1 小問集合です。

計算に関しては正答率が高く、全体的に健闘していました。

(6)は大、小のさいころと問題文には明記されているので、2 つのサイコロを区別して場合の数を数える必要があります。サイコロ目を区別しないで場合の数を数えている解答が目立ちました。

(7)橋を渡り始めてから渡り終わるまでの移動距離は、「橋の長さ+車両の長さ」ですね。かかった時間の差が車両 3 両が移動するのにかかった時間です。基本的な「き、は、じ」が理解できていれば OK ですね。

2 (1)P、Q の両点が C 上にあるのは 3 と 4 の最小公倍数である 12 の倍数秒後ですが、C よりも先に B で重なります。

(2)(1)をヒントに点 B で重なるのが 44 秒後となるような AB の長さを求めます。

(3)P が A に重なり、三角形 PQC の面積が最も大きくなるのは Q が D に重なっているときです。

3 非常に正答率の低い問題でした。異なる 3 点を選べば三角形が 1 つに決まりますが 1 つの頂点を固定して考えると解き易いでしょう。

(1)例えば、A を固定すると正三角形は  $\triangle AEI$  の 1 つだけです。同様に  $\triangle BFJ$ ,  $\triangle CGK$ ,  $\triangle DHL$  が正三角形となり、答えは 4 つです。

(2)残りの 2 点を B から L の中から選びましょう。

(3)作れる三角形の総数から二等辺三角形と正三角形の個数を引いて求めます。

4 Jさんの目の高さで、(1)は壁 X の一番上の位置を結んだ直線を、(2)は壁 Y の一番上の位置を結んだ直線を、(3)はドアの一番上の位置を結んだ直線を描くことで、三角形の相似を利用して求めることができます。

1 月 12 日の入試は大問が 4 題、全体的な小問数は 20 問前後と今回と変わりません。試験中は解きやすいような問題から解くようにしましょう。受験生の皆さんの頑張りを応援しています。

連日の試験ですが、体調管理に気を付けて頑張ってください。

1月11日(日) 中学入試 第2回 社会

大問1 地理分野

基本的な問題の出題でしたが、次にあげる2題が正解できると合格に近づいたようです。

問2は「ウ 九十九里浜海岸」が正解となる問題でした。この問題は、リアス海岸ではない場所を問われている問題です。代表的なリアス海岸は中学入試では基本事項です。代表的なリアス海岸の名称と場所は今一度確認しておくことと今後の入試で役に立つでしょう！

問3は本校の地理分野ではおなじみの気温と降水量のグラフでした。日本のそれぞれの地域の気候の特色は頭に入っていますか？この問題では、瀬戸内地方、太平洋側、日本海側と出題頻度の高い地域のグラフでした。瀬戸内地方は降水量が少ない、太平洋側は夏に降水量が多い、日本海側は冬に降水量が多い、それぞれなぜそうなるのか理由が説明できますか。暗記することはもちろん重要ですが、理由も理解しながら学習すると様々な出題パターンに対応できるようになります。

大問2 歴史分野

今年のけやき丸(城北埼玉の敷地内に住む妖精)は大河ドラマの「豊臣兄弟!」をきっかけにして、歴史上の有名な兄弟をテーマに選びました。テーマは兄弟ですが、歴史分野の得点に必要なことは、時代ごとにしっかりと出来事や人物を理解しているかです。どの時代の出来事か、しっかりと理解していない受験生が多いように感じました。特に選択肢がイラストの問題は、正答率が低いようでした。歴史は特に資料集・図録を見ながら、学習することが必要です。例えば問6では、運慶の代表的な作品と聞かれれば東大寺南大門金剛力士像と答えられる人が多くいると思います。作品のイラストを選ぶとなると、正答率が一気に下がってしまいます。このような問題で正解できるようになると他の受験生に差をつけることができます。また、人物の写真も頻出です。特に本校では内閣総理大臣の写真は必ず出る問題です。政策や事件と人物の写真はセットで覚えることで得点がアップします。まだまだ中学受験は始まったばかりです。合格を勝ち取るために単なる暗記ではなく、つながりを意識して学習しましょう。

大問3 公民分野

昨年は参議院選挙がありました。このような大きな出来事は入試に出題されやすい出来事です。選挙制度に関連するものは押さえておいた方がよいでしょう。出題した「普通選挙法」は基本的な用語の1つであり、昨年(2025年)は1925年に成立した普通選挙法から100年と区切りのよい年です。選挙制度は受験生にとっては複雑で苦手な人も多いと思いますが、正確に仕組みを理解することで、今後の受験に大いに役立ってくれることでしょう。

問4は与えられた少ない情報の中で、自分の知識と結びつけて考えられるかどうかを判断するために、あえて単位などを省いた資料を用いました。表Aは4種類の数字がありますが、右端の「1.20~2.69」という数字に注目すると選択肢の中では「合計特殊出生率」に近い数字だと気付いてほしいところです。グラフBは棒グラフですが、こういうグラフは急激に増えているところ・減っているところに注目することが大切です。2021年前後に大きく減っているということはコロナ禍を思い出し、移動が制限される中で訪日外客数(インバウンド)が減ったことに結び付けてほしいところです。正答までたどり着いた受験生は少ないヒントの中でよく考えることができた受験生です。その粘り強さをこれからの受験にも生かしてください。

問8ではイラストから最近よく使われる用語を推測する問題でした。問4も含めて、資料を読み解く力は中学入学後にも必要な力です。第3回入試でも出題していますので、よく復習しておきましょう！

社会科 鈴木 義仁

I (物理分野)

ボール投げの問題

普段何気なく遊んでいるボール投げも、実はたくさんの理科のきまりがかくれています。今回の問題を通して、みなさんが「どうしてこうなるんだろう?」と考えたり、表や数字を使って調べたりすることの大切さを感じてくれたらうれしいです。

問 1 表の数字をよく見て、どんな関係があるかを見つけてみましょう。

「最高点の高さ」について、80cm は 20cm の 4 倍、180cm は 20cm の 9 倍となっています。「打ち出してから地面にぶつかるまでの時間」については 80cm での【0.81 秒】は 20cm での【0.40 秒】の約 2 倍、180cm での【1.21 秒】は 20cm での【0.40 秒】の約 3 倍になっています。つまり「打ち出してから地面にぶつかるまでの時間」が 2 倍、3 倍になると「最高点の高さ」は 4 倍、9 倍になっています。

これらより、「打ち出してから地面にぶつかるまでの時間」が 2 倍、3 倍になると「最高点の高さ」はそれぞれ  $2 \times 2 = 4$  倍、3 倍になると  $3 \times 3 = 9$  倍になっていることがわかります。よって ①は 4、②は 9 となります。

問 2 問 1 で気づいた「打ち出してから地面にぶつかるまでの時間」と「最高点の高さ」の関係を使ってみましょう。「最高点の高さ」について 160cm は 40cm の 4 倍なので、160cm での「打ち出してから地面にぶつかるまでの時間」は 40cm のときの 2 倍であるとわかります。よって求める時間は  $0.57 \times 2 = 1.14$  となるため、答えは イ となります。

問 3 打ち出す角度が  $90^\circ$  のときは、ボールを真上に打ち出した[実験 1]と同じ状況になります。つまり、表 1 の値を参考に、「打ち出してから地面にぶつかるまでの時間」が 1.98 秒になるときの「最高点の高さ」を考えればよいのです。問 1 より、「打ち出してから地面にぶつかるまでの時間」が 2 倍になると「最高点の高さ」は 4 倍になると言えます。ここで、1.98 秒は 0.99 秒の 2 倍であることに気づければ、問われている高さは 120cm の 4 倍であるとわかります。

よって、求める「最高点の高さ」は  $120\text{cm} \times 4 = 480\text{cm}$  となり、答えは ア となります。

問 4 「打ち出してから地面にぶつかった点までの距離」が同じになる「打ち出す角度」の組み合わせについて、 $(18^\circ \text{ と } 72^\circ)$ 、 $(36^\circ \text{ と } 54^\circ)$  はそれぞれ足すと  $90^\circ$  になります。この関係に気づければ、足して  $90^\circ$  になる角度の組み合わせを選べばよいことがわかります。

よって、4 つの組み合わせのうち、足して  $90^\circ$  になるのは  $(25^\circ \text{ と } 65^\circ)$  と  $(42^\circ \text{ と } 48^\circ)$  となり、答えは イ・エ となります。

問 5 「打ち出した点から地面にぶつかった点までの距離」は、表 2 より  $(0^\circ \text{ と } 90^\circ)$ 、 $(18^\circ \text{ と } 72^\circ)$ 、 $(36^\circ \text{ と } 54^\circ)$  というように足して  $90^\circ$  になる組み合わせにおいて、2 つの角度の差が小さくなっていくにつれて長くなっていくことが読み取れます。また問 5 の問題文には、この表に示されていない角度について、 $0^\circ$  から【答えの角度】までは長くなっていき、この【答えの角度】を超えると短くなると書かれています。これらより、【答えの角度】は  $90^\circ$  のちょうど半分であることがわかります。

よって、【答えの角度】は  $45^\circ$  となるため、答えは イ となります。

## 2 (化学分野)

密度に関する問題でしたが、グラフから正確に情報を読み取ることができるかがポイントです。

問1 原点から A~F の各点に向かって直線を引いて、傾きが同じものを密度が同じもの(同じ物質)と判断することができます。または、重さと体積を読み取って密度を計算しても判別できます。

問2 同じ体積の物質であれば、密度が大きい物質ほど重さも大きくなります。

問3 ①~③のそれぞれの体積の大きさに注意して、各物質の密度から重さを求めます。

問4 (1)はシンプルな濃度計算、(2)は砂糖水の密度と、A~F の物質の密度を比較して求めます。

## 3 (生物分野)

生物どうしは、「食べる—食べられるの関係」、つまり、食物連鎖を通して繋がっています。また、生物は温度や光、空気、土壌、栄養塩類などの、周囲の環境から常に影響を受けながら生活しています。このように、生態系は非常に複雑なしくみで成り立っています。なので、今回出題した「海苔の色落ち現象」に関する会話文のように、自然に目を向け、かかわり方を常に検討し続けることが大切だと思います。受験生の皆さんも、今一度、人間と生態系のかかわり方について、深く考えてほしいと思います。また、理科を暗記科目ととらえるのではなく、「身の回りの現象とのつながり」を意識して学び続けると、より学びが深まると思います。引き続き、学習に励んでください。

問1 富栄養化は、生活排水や工場排水、農業排水などの流出が原因となって生じます。 よって、(1)の解答は「ウ」です。また、下水処理場(終末処理場)では、大きな流れとして、次のように水をきれいにします。

- ① 沈砂池では、大きなゴミや土、砂などを沈殿させて取り除きます。
- ② 最初沈殿池では、沈砂池で取り除けなかった細かい汚れを沈殿させ、取り除きます。
- ③ 反応タンクでは、污水に活性汚泥と空気を送り込み、攪拌します。活性汚泥には微生物が含まれており、これらの微生物は酸素を使って汚れを分解しながら増殖します。その結果、微生物は沈殿しやすいかたまりとなり、活性汚泥として水中に浮遊します。この工程によって、水に溶けている汚れは大幅に減少します。
- ④ 最終沈殿池では、反応タンクで生じた活性汚泥を沈殿させ、きれいな水と分けます。  
沈殿した活性汚泥の一部は再び反応タンクに戻し、余分な活性汚泥は汚泥処理施設で処理します。
- ⑤ 消毒設備では、塩素を使って上澄みの水を消毒し、その後、河川や海へ放流します。  
よって、(2)の解答は「ア、エ」、(3)の解答は「ウ」です。なお、酸素がない環境で汚れを分解する微生物を用いて、排水を処理する方法もあります。

問2 海の富栄養化に伴うプランクトンの異常な増殖によって生じる、海面が赤褐色に変化する現象のことを「赤潮」といいます。

問3 マコンブ、ボタンアオサ、ワカメは藻類に分類されます。一方、アカサングとエチゼンクラゲは動物です。よって、(1)の解答は「エ、オ」です。また、海藻は、基本的に太陽の光が届く浅い海に生息します。よって、太陽の光が届かなくなると海藻の収穫量が減ると考えられます。よって、(2)の解答は「オ」です。

問4 生物どうしの、「食う—食われる」の関係のことを「食物連鎖」といいます。

問5 生物の生産性や多様性を高めると考えられる活動が解答となります。

よって、解答は「ウ、オ」です。

#### 4 (地学分野)

火山と、地震についての問題でした。

- 問1 火山の形はふん火で出てくる溶岩のねばりの強さによって決まります。クリュチェフスカヤ山や富士山のように、山らしく三角形に高く盛り上がった形の火山は同じようなねばりの強さがある溶岩によってつくられます。よって答えは ウ です。
- 問2 地下からマグマが吹き出すことをふん火といい、そのようなことが起きる山を火山といいます。よって答えは「マグマ」です。
- 問3 マグマのねばりが強いほど高く盛り上がった形の火山になり、ねばりが弱いほど平たく広がった形の火山になります。またねばりの強さが違うマグマは、冷えて固まって岩石になったときの色も違います。それはマグマをつくっている成分が違うからです。形と色の関係が合っているのは、(1)が イ , (2)が ウ です。
- 問4 火山がふん火すると様々なことが起こります。たとえば火山灰という細かな石の粒が降り積もると、地面はスポンジのように雨水がしみこみやすくなります。溶岩が固まって川の流れをせき止めたまま、大きな湖になった場所がたくさんあります。マグマに含まれるガスには有毒な成分もあります。しかしこれらのようなことが起きるのを予測して、大きな被害が出そうな場所を示したハザードマップをつくるなど、対策もとられています。よって答えは ウ です。
- 問5 カムチャツカ半島の地震のマグニチュードは 8.8 なので、マグニチュードの数字は4大きいことになります。2大きいとエネルギーは 1000 倍になるので、4大きいとエネルギーは 1000 倍のさらに 1000 倍 = 1000000 倍になります。よって答えは ウ です。

受験生の皆さん！今日も本当によく頑張ってくれました。しっかりとした答案がたくさんありました。試験でできたという経験はとても大きなものです。また、不安があった内容はすぐに振り返りをして次につなげてください。まだまだ入試が続く人が多くいると思います。体調に気を付けて頑張ってください。みなさんのご健闘をお祈りしています。

理科 藤野 博行